

月刊 きょうと教育通信

111件の応募の中から、このたび名称を決定しました。多数の御応募ありがとうございました。

vol. 3 平成14年11月号 発行：京都市教育委員会企画課（222-3768）

市民みんなで祝う『成人の日』の創出に向けた取組を展開

本市では、毎年、市内青年団体の熱心なボランティアの協力を得ながら、厳粛な中にも温かみのある「成人の日記念式典」を実施しており、本年度は、平成15年1月13日（月・祝）に京都市勧業館「みやこめっせ」において開催します。式典では、和太鼓の演奏や新成人代表による「二十歳の誓い」などを行っており、例年多くの新成人が、それぞれの「誓い」を胸に未来に向かって決意を新たにします。

さらに、昨年度、榎本頼兼市長の諮問により発足した「成人の日をみんなで祝う検討委員会」からの「7つの提言」を具体化する、全国に先駆けた総合事業「はたちプロジェクト」を新規事業として、今年度創設しました。プロジェクトでは、地域の自治会や新成人自身による「成人の日に合わせた個性溢れる取組」の表彰や、小学4年生が「大人」について考え、10年後の20歳の自



分にメッセージを残す取組、さらに、美・理容師など仕事で13日の記念式典に参加できない新成人のための「新しい成人式」を別途15日に実施。社会全体で青年の晴れの門出を祝い励ますとともに、新成人自身が社会的責務や使命を自覚する「成人の日」の新たな気運づくりの創出に向けた多角的な取組を推進します。

ご意見・お問合せ＝社会教育課（222-3800）

新教育委員に鈴木千鶴子氏

これまで8年間にわたり、本市教育行政の発展充実に貢献してこられた異友正教育委員の任期満了にあたり、10月10日、鈴木千鶴子氏（42）が教育委員に任命されました。



これまで、京都市PTA連絡協議会会長や人づくり21世紀委員会幹事長等を務められた鈴木教育委員は、小学生から高校生まで3人の子どもの母親で、政令指定都市の教育委員では最年少。榎本頼兼市長から辞令を受けた鈴木氏は「保護者の代表として、子育て世代の声を本市教育行政に生かしたい」と語りました。

ご意見・お問合せ＝企画課（222-3768）

榎本頼兼市長から辞令を受ける
鈴木教育委員



<11月の主な予定>

- ～12月12日 第17回京都市小学校「大文字駅伝」大会
支部予選会
- 1日（金） 第54回教育功労者表彰式典
- 2日（土） 音楽高校定期演奏会（会場：京都コンサートホール、無料、当日直接参加）
- 3日～17日 第18回京都市中学校総合文化祭
- 6日（水） 養護学校文化交歓会「ふれあいの集い」
- 8日（金） 第9回道徳教育振興市民会議
- 16日（土） 子どものための講演会「シリーズ石のひみつ第3回」（会場：青少年科学センター、事前申込制）
- 17日（日） 第4回人づくり連続公開講座（会場：ルビノ京都堀川、講師：山口良治氏、定員：当日先着50人）
- 22日（金） 第5回子どもカウンセリングセンター企画懇話会
- 22日（金） 第9回障害のある市民の雇用フォーラム
- 23・24日 花背山の家自然大好きフェスティバル
- 30日（土） 第2回堀川高校スーパーサイエンスハイスクール運営指導委員会
- 30日（土） 特別対談「全国に先駆けて京都に学校ができた背景」（会場：学校歴史博物館、上田正昭氏と西島安則氏の対談、事前申込制）

注 目

第11回民族の文化にふれる集い

23日（土）午後1時半～、会場：京都こども文化会館（上京区一条七本松西入）。市立学校と市内の民族学校が取り組んでいる韓国・朝鮮の文化・芸術等に関する舞台発表・作品展示等。当日自由参加。

パソコンの父と連携 「アラン・ケイ プロジェクト」が発足

9月29日、「アラン・ケイ プロジェクト発足記念講演会」をキャンパスプラザ京都で開催しました。

講演会では、長尾真氏（京都大学総長）、堀場雅夫氏（政府出資特別法人・京都ソフトウェア・アプリケーション社長）の祝辞に引き続き、「パソコンの父」と呼ばれるアラン・ケイ博士（写真：左上）がアメリカでの実践内容を紹介。最後に門川大作教育長が、番組小学校創設以来の進取の気風により常に時代をリードしてきた京都の教育の伝統とIT時代への対応について述べました。

このプロジェクトは、京都市教育委員会や京都大学、京都ソフトウェア・アプリケーションが連携し、アラン・ケイ博士が開発したプログラム言語「Squeak（スキーク）」を活用。子ども達が実際にさまざまなプログラムを作成する中でソフトウェアの基本的な概念や発想法を発達段階に応じて学び、物の動きや性質をコンピュータで体



験することにより物理や数学の法則を楽しみながら自ら発見する力を育むものです。現在、カリフォルニア州立大学ロサンゼルス分校（UCLA）附属小学校やドイツ、インドで行われていますが、日本の学校で初めて、京都市立御所南小・高倉小・京都御池中（平成15年統合開校）・堀川高校・西京高校（平成15年開校）の5校で17年度まで取組を行います。

ご意見・お問合せ＝情報教育センター（841-3505）

中坊公平氏が生涯学習市民フォーラム会長に



新会長に就任した中坊公平氏

10月1日、市民の英知を集めた生涯学習づくりを推進するために設置している「京都市生涯学習市民フォーラム」委員の任期満了に伴い、元日本弁護士連合会会長であり、堀川高等学校運営指導委員としても活躍いただいている中坊公平氏が、榎本頼兼市長の指名により新たに会長に就任されました。また、生涯学習関係団体の代表者等170名に対して、委員を委嘱しました。

同フォーラムは、平成6年の結成以来、「京都市生涯学習の日」の制定や「京都市生涯学習まちづくり憲章」の策定、また「京都市生涯学習新世紀プラン」の起草への参画など、市民の持つ活力と英知を結集した取組を進めてきました。今後、新体制の下で、総会及び市民を対象とする特別講演会を開催するなど取組の一層の充実を図り、市民感覚に根差した生涯学習社会づくりを進めます。

ご意見・お問合せ＝生涯学習推進課（222-3183）

なんばあわん

カメラ・モニター等の防犯システムを 全校に設置（政令指定都市初）

平成13年6月8日、大阪府池田市において、侵入者により8人の児童の命が奪われる痛ましい事件が起きました。

京都市では、校長会やPTAからの要望を受け、6月12日、榎本頼兼市長が、市立小・中・養護学校全266校への防犯システム導入を決定。6月中に政令指定都市で初めて全校に設置することができました。システムは、校門等に設置する防犯カメラ、職員室等のモニターテレビ・出入者感知センサーで構成するもので、その後、市立幼稚園・高校に加え、私立幼稚園等にも整備しました。

引き続き、家庭・地域との連携による児童・生徒の安全確保等についてとりまとめた教職員向けリーフレット「学校安全の手引・別冊」の作成や教職員の名札着用の義務化等、学校での安全対策を推進してきました。

こうした取組の背景にあるのが、11年12月に起こった事件を契機に発足した「伏見区小学校事件に関する専門家会議」（会長：河合隼雄氏）。同会議は、「開かれた学校づくりを進めながら、学校を取り巻く人々の心のつながりで目に見えぬ防壁を作り出すことが大切」と指摘。学校の門を閉ざすことなく、地域の方々に学校を訪れていただくこと等によって、学校・家庭・地域がより強固に結びつき、地域の子どもたちを見守り支える現在の取組につながっています。

ご意見・お問合せ＝調査課（222-3783）